

令和7年度 学校運営連絡協議会実施報告書

1 組織

- (1) 名称 東京都立竹台高等学校 学校運営連絡協議会 (全日制課程)
- (2) 事務局の構成 主幹教諭＝事務局長、教務部員2名 計3名
- (3) 内部委員の構成
校長、副校長、経営企画室長、教務主任、進路主任、生活指導主任 計6名
- (4) 協議委員の構成
地域自治会長、近隣中学校長、地域消防署長、本校学校医、荒川区生活安全係、同窓会会長、PTA会長 計7名

2 令和7年度 学校運営連絡協議会の概要

(1) 学校運営連絡協議会(第1～3回)の開催日時、出席者、内容、その他

- 第1回 令和7年6月19日(木) 内部委員6名、協議委員7名
協議委員の委嘱、委員紹介、評価委員の委嘱
昨年度の度学校経営報告及び学校運営連絡協議会の課題
本年度の学校経営計画と経営企画室及び各分掌の課題等説明、協議委員アンケート
 - 第2回 令和7年11月27日(木) 内部委員6名、協議委員7名
本校の現状と本年度の取組について
学校評価アンケートについて
意見交換及び協議
 - 第3回 令和8年2月5日(木) 内部委員6名、協議委員7名
今年度の取り組みについて
学校評価の集計結果及びまとめについて
次年度に向けた方向性の確認
- (2) 評価委員会 令和7年11月27日(木) 内部委員6名、協議委員2名
学校評価アンケートについて
意見交換及び協議

3 学校運営連絡協議会による学校評価(学校評価報告)

(1) 学校評価の観点

「学校への理解」「学校の意欲」「学校の実践」の観点で実施する。

(2) アンケート調査の実施(12月)・対象・規模

・全校生徒	対象：748人	回収：691人	回収率：92%
・保護者全員	対象：748人	回収：399人	回収率：53%
・地域・住民	対象：15人	回収：15人	回収率：100%
・教職員	対象：57人	回収：57人	回収率：100%

(3) 主な評価項目

- ・学校運営、学習指導、生活指導、進路指導、特別活動・部活動、健康・安全、施設・設備及び、「ライフ・ワーク・バランスの推進」に関する評価項目を、学校実態に合わせて適宜設定する。

(4) 評価結果の概要及び分析・考察

- 学習面についての評価は、肯定的な評価が多い。昨年度と比べても変化が少なく、一定の評価を得られている。安全・安心な学校における学びを止めないという視点で今後の教育活動の継続を図る。
- 部活動においては様々な場面で、活動が活発になっており、昨年度よりも肯定的な評価が多い。
- 「体罰や暴言に頼らない指導」については、昨年度よりもさらに生徒・保護者ともに高い肯定的評価となっており、学校が安全・安心な場所となっている。
- 今年度、教職員の肯定的評価が高く、学校目標に対応した教育活動を各教員が理解し、実践していることがわかる。特に授業ではアクティブ＝ラーニング型の授業やデジタル機器の活用した授業がほとんどの授業において展開され、生徒の確実な学力の定着に繋がっている。
- アンケートを生徒・保護者・教員では、formsを活用し、効率よく実施し、昨年度と比較し、大幅に回収率を増加することができた。地域住民には、町会と連携しての紙での実施となった。また、対象者に関わらず、「わからない」と回答する率は依然として高く、さらなる学校情報提供が必要である。
- 学校ホームページや特にClassi等による紙以外での情報伝達方法の活用がかなり定着した。今後もさらに様々な方法で学校情報を家庭に伝える体制を整える。地域に対しては、学校行事(文化祭)等の地域参加も積極的に実施するなど、コミュニティスクールとしての学校づくりを進めていきたい。
- 不登校生徒の減少に伴い、学校においては人間関係構築に困難さを感じている生徒が増えている。SC

や特別支援コーディネーター等との報告・連絡を密に行い、教職員がきめ細かく、粘り強く指導する組織的な対応づくりを強力に推進する。

(5) 評価結果の分析・考察(学校及び校長への意見・提言)

① 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

本校の教育課題における改善に向けた取組への理解が得られ、その成果が期待されている。期待されることにより、教職員の課題解決に向けた意欲と自信の向上につながっている。また、新校舎完成による整備された学習環境において、より丁寧な進路指導への期待が高く、期待に応える学校経営を進めていく。

② 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

- 大学進学における新しい入試スタイルに即した学校の進路指導の改善が必要
- 進路指導において生徒のみならず、家庭との連携・協力体制の強化を図るための三者面談の実施
- 生徒の教育をつかさどる教職員の働き方改革のさらなる改善

4 学校運営連絡協議会および学校評価を活用した教育活動の改善事項(学校経営計画へ反映)

(1) 学校運営

- 学校経営計画の具現化のための組織的な学校運営
- キャリア教育の充実と推進
- カウンセリングマインドを取り入れ、生徒一人ひとりを大切にする指導の向上と体制強化
- 学校HP、Teams、Classi等を活用した生徒、保護者、中学生、地域への情報発信
- 教育環境及び防災拠点として、新校舎とその設備に寄せられる期待への対応
- 防災訓練を通して、生徒への防災教育の充実と地域と連携した取組の推進

(2) 学習指導

- 授業規律を徹底し、生徒が主体的に学べる授業づくり、学習指導方法の確立
- アクティブ=ラーニング型授業を推進し、生徒が意欲的に学習に取り組むことのできる授業づくり
- 3者面談や保護者会を通じて家庭と連携し、効果的な補習・講習実施計画づくりと生徒の参加の推進
- 一人1台端末、ICT活用等のデジタル機器を活用し、生徒の学習意欲向上を図る授業づくり
- 会議室や自習室利用、「竹台塾」等の活用による資格取得を通じて、学習習慣の定着を図る

(3) 生活指導

- 時間を守り、授業規律をしっかりと守る自律した態度の育成
- 生活指導部と学年が連携し、効果的な身だしなみ指導、遅刻指導の実施
- 部活動加入率の向上、成果をあげた部活動を手本として、全部活動の活性化を図る
- 荒川区の行事参加、町会等の地域行事参加等を通じた地域との連携強化

(4) 進路指導

- 1年時から進路指導の充実を図り、3年間を通じての進路意識醸成の継続
- 担任による希望進路実現のための3者面談、進路説明会、模擬試験の充実
- 外部機関と連携したキャリア教育の推進と改善に向けた不断の見直し
- 生徒・保護者の希望進路にコミットした外部機関等を活用した進路指導体制の確立
- 総合的な探究の時間に係る学年間の連携の強化や組織的な運営体制の整備

(5) 健康・安全

- 美化活動を指導重点項目とし、清潔で快適な学習環境の整備
- SCや都立版エリアネットワーク、特別支援コーディネーター等を活用した生徒の心のケアと育成

(6) 教育相談機能の強化と教員研修の実施

- 防災教育を継続して推進し、自助・共助の精神の育成と地域連携の構築
- 教育相談委員会の定期開催の実施

5 「学校がよくなった」と考える協議委員の割合

(1) 協議委員人数 7人

(2) 学校がよくなったと答えた協議委員の人数

そう思う	多少そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	分からない	無回答
4	0	0	0	0	1	2

6 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

【実績】 職員会議 0回 0人 企画調整会議 0回 0人